

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.13 2005年1月16日

目 次			
この3年間を振り返り	1	臨床こぼれ話	6
選挙のおしらせ	2	理事会等報告	7, 8
研修会のおしらせ	2	求人情報	8
研修会報告、他	3, 4	生涯学習システム、他	9
施設紹介	5	入会のお誘いについて、他	10

.....この3年間を振り返り.....

会長 村西 幸代

みなさま新年あけましておめでとうございます。昨年は異常気象に地震・台風と自然の脅威を思い知らされる一年間でした。今年はみなさまにおかれまして、一日一日が穏やかにつつがなく過ごせる年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、更なる飛翔の年でありますことを祈念致します。

さて、千葉県言語聴覚士会（以下千葉県士会と略）が発足致しまして、もうすぐ4年目を迎えるとしております。千葉県士会は会員全員の資質の向上、言語聴覚士の社会的地位の向上確立、地域社会における保健・医療・福祉・教育の発展と充実に寄与することを目的に活動を行って参りました。昨年は年4回の研修会の実施の他、会員のみなさまのご協力のもと千葉県各地域の勉強会立ち上げに関与させて頂きました。また平成15年より参画しております、日本言語聴覚士協会（以下協会と略）の都道府県士会協議会では、昨年も千葉県士会の活動やみなさまの考えを報告して参りました。診療報酬改定時や介護保険制度見直し時には、迅速に現場の実態をアンケートにより調査し、協会に現場に即した改定を働きかけてもらえるよう求めて参りました。現在は特別支援教育に關し言語聴覚士として学校の教育現場に寄与できるための働きかけを行っております。

千葉県では新生児聴覚検査実施に先がけ「新生児聴覚専門部会」が設置されました。部会では、「早く見つかって良かったと思えるシステムづくり」をめざして、新生児聴覚スクリーニング委員会で話し合われた意見を出し反映を求めております。昨年の6月には千葉県理学療法士会、千葉県作業療法士会とともに合同連絡会に参画し、さまざまな職能組織との連携も高まってきております。今年の8月25日には千葉県において「第8回日本福祉のまちづくり学会」が計画されており、多くの職能組織の方々とともに準備を進めております。このように短期間に多くの活動がなされてきたのは、会員のみなさまのご理解とご協力の賜物であると考えております。

現在千葉県士会は200名の方が会員として登録くださっております。昨年行われました第4回総会では、本会の目的を達成するために必要な事業として「現行の細則各項目を再検討するとともに、業務を円滑に執行するために必要な規定を策定する」を提出させて頂き採択されました。現在理事会では、会員の誰でもが参加できる理事会づくりをめざし業務を執行するために必要な規定を作成しております。千葉県士会は200名全員の会であり「言語聴覚士」という私たちの「職業」を守るために大切な活動です。私たちを必要と求めてくださる多くの方々のためにも、私たちのこの「職業」を広げていくことが重要と思われます。活発な活動を継続していくためには、多くの新しい考え方や意見が必要となります。今回行われます選挙におきましては、みなさまの積極的な自薦他薦をお願い致します。ぜひ会員全員の力により千葉県言語聴覚士会を盛り上げて参りましょう。

選挙管理委員会から

選挙告示

千葉県言語聴覚士会選挙細則に基づき、理事・監事選挙を行いますので、立候補および推薦を受け付けます。選挙日程は以下のとおりです。

選挙日程

立候補・推薦受付期間：平成17年2月1日（火）～2月14日（月）（締切日の消印有効）

選挙公示：平成17年3月1日（火）

投票期間：平成17年3月18日（金）～3月24日（木）（締切日の消印有効）

開票日：平成17年4月3日（日）

* 正会員の方は同封の別紙をご覧ください。

自分のために！ ST という仕事のために！ 千葉県言語聴覚士会のために！ 皆さんのお力が必要です。私たちそれぞれが力を出し合い、支え合い、私たちのための千葉県言語聴覚士会を作っていきましょう。あなたご自身でも、あるいは職場の方、学友の方、お知り合いの方など、ぜひ立候補ならびに推薦をよろしくお願ひいたします。

学術局から

1. 研修会のおしらせ（別紙もご参照ください）

平成16年度第4回研修会

研修会を次のように企画しています。今回は「他職種との連携」をテーマに、成人の症例検討会を行います。今年度最後の研修会です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

* 日 時 平成17年3月13日（日） 13時～16時

* 会 場 船橋市立医療センター C棟4階会議室401

* 日 程 .症例検討会 [13:00～15:00]

（1）「重度の開口障害・嚥下障害を呈した症例～訪問部門との連携～」

提案者：大石 芳恵先生（松戸神経内科）

（2）「当ケアセンターSTにおける他職種との連携の試み」

提案者：伊瀬知 真実子先生（八千代ケアセンター）

コメンテーター：大塚 剛先生（理学療法士・ロータスケアセンター、板倉病院）

勝又 綾子先生（言語聴覚士・ユー・アイ久楽部他）

.情報交換会 [15:15～16:00] （会員・会友のみ）

* 参加費 会員・会友無料、会員外・学生500円

* 申し込み及び問合せ先：

〒290-0512 市原市鶴舞575 千葉県循環器病センター リハ科 ST 神作 晓美

FAX:0436-88-3032 TEL:0436-88-3111

（電話によるお問い合わせは17:00～18:00 にお願いします。）

2. 平成16年度第3回研修会報告

平成16年12月5日(日)千葉大学医学部附属病院第2講堂にて、第3回研修会を行いました。シンポジウム形式で、テーマは、「千葉県における新生児聴覚スクリーニング事業について~早く見つかって良かったと思えるシステムをめざして~」でした。内容は以下のとおりです。

基調講演 「新生児聴覚スクリーニングの現状と展望」
講師 工藤 典代 先生(千葉県こども病院耳鼻咽喉科)
シンポジスト 福島 朗博 先生(筑波大学附属聴学校乳幼児教育相談室)
斎藤 真純 先生(千葉県こども病院耳鼻咽喉科)
田辺 佳子 先生(千葉市療育センター・やまびこルーム)



参加者は56名(うち会員・会友33名、会員外13名、学生10名)でした。

当日行ったアンケートの一部をご紹介します。

アンケート結果

- ・聴覚障害のスクリーニング検査時からの状況から診断、相談、療育について、医師の立場から相談機関、教育機関のそれぞれの状況を具体的に知る事ができた事、全てが良かったと思います。
- ・新生児聴覚スクリーニングの目的、仕組みについてのみならず、他の健診にも通じることですが、「疑いあり」ということでも母親の不安をかきたてるものだと、そのあたりをおさえた研修で、有意義なものでした。
- ・本日の研修会が千葉県の新スクが良い方向に進むきっかけになればとてもよいと思いました。
- ・父兄の方の意見が聞けて良かったです。産科が先にスクリーニングを始めた訳や、県(行政)が積極的でない理由がもう少し聞きたかった。
- ・構成が良かった。始めに講演で後で3カ所の実際の検査・療育の現場での実践が聞けたので。新スクが行えない年令の子、又は新スクがうまくいかずに言語発達に影響を受けた子達のその後の療育についても考えてほしい。
- ・医療機関の現状を聞け、療育機関へ来る経過が見えてきました。附属聴学校ややまびこでのアンケートや事例について、具体的に医療機関の意見を聞けると良かったと思います。
- ・このような幅広い世代間での意見交換、討論は大変よいことであると感じています。また、他の病院、施設等の横のつながりも強くなっていくと思うので定期的に行っていくべきだと思います。

学術局より

研修会の参加とアンケートのご協力ありがとうございました。千葉県における新生児聴覚スクリーニング事業の現状と課題についてみなさまにご理解いただき、本人や保護者の方をはじめ関係者が、早く見つかってよかったですと思えるシステムづくりをさらに推進していくことを願っています。今後も研修会へのご参加とご意見をお待ちしています。

3. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。

貸し出し期間：1ヶ月

方法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼って送ってください。

あて先：〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-45-1 千葉県袖ヶ浦養護学校 小学部 野島 洋子

貸し出しビデオ：

「STがおこなう高次脳機能障害の臨床」 講師 鈴木 勉先生（東京都立墨東病院）

「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」 講師 長澤 泰子先生（日本橋学館大学）

「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」 講師 矢守麻奈先生（都立駒込病院）

「重複障害児のAAC-日常生活とST訓練を結ぶ」 講師 知念洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

「記憶障害の臨床像と対処法-症例を通して-」 講師 安田清先生（千葉労災病院）

「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援-通院及び通所（デイケア）リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り-」 講師 横張琴子先生（松戸神経内科）

「コミュニケーションの発達と支援-前言語期から言語獲得に向けて-」 講師 長崎勤先生（筑波大学）

「脳外傷の高次脳機能障害-認知・コミュニケーション障害の評価-」 講師 藤田郁代先生（国際医療福祉大学）

*貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

4. 研修会資料の送付

希望者に研修会資料の配布を行っています。返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200円分）を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：上記のビデオ 、 、 の資料及び下記のとおりです。

症例検討会「成人の高次脳機能障害」

発表者：武田智子先生（千葉中央デイカセントー） 酒井千代先生（佐倉ホワイエ）

助言者：鈴木勉先生（都立大塚病院） 相見優子先生（下総病院他）

症例検討会「小児のコミュニケーション障害」

発表者：小宮山則彦先生（亀田クリニック） 依田美都先生（帝京大学市原病院）

助言者：田中康雄先生（国立精神・神経センター・国府台病院） 知念弘美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

脳外傷の高次脳機能障害-認知・コミュニケーション障害の評価- 講師 藤田郁代先生

症例検討会「ADHDが疑われる小学2年生の指導 関係機関との連携をとおして」

発表者：渡邊裕貴先生（印西市ことばの発達相談室）

齊藤恵美子先生（印西市立内野小学校ことばの教室）

助言者：森永良子先生（白百合女子大学）

「千葉県における新生児聴覚スクリーニング事業について～早く見つかって良かったと思えるシステムをめざして～」

基調講演：「新生児聴覚スクリーニングの現状と展望」

講 師 工藤典代先生（千葉県こども病院耳鼻咽喉科）

シンポジスト 福島朗博先生（筑波大学附属聴覚学校乳幼児教育相談室）

斎藤真純先生（千葉県こども病院耳鼻咽喉科）

田辺佳子先生（千葉市療育センター・やまびこルーム）

5. 地域の勉強会について

昨年度から会員の皆様のご協力により、地域の勉強会が開催されています。同封の「千葉県内で行われる地域の勉強会情報」をご参考の上、奮ってご参加ください。また、ホームページではこの情報について随時更新を行っていますので、ぜひご利用ください。希望者にはメールマガジンでのアナウンスも行っていますので、そちらもご参考ください。

施設紹介

木更津市立祇園小学校ことばの教室

宮川 智子

祇園小学校ことばの教室は、平成7年度に通級指導教室として開設され本年度はちょうど10年になります。開設の翌年度から教員2名が担当し今に至っています。

木更津市には、祇園小学校の他に3校のことばの教室と1校の難聴指導教室があり、就学前のお子さんには幼児言語センターがありますので、この地域はことばの問題をケアするには恵まれていると思います。

他校からの児童は、主に放課後保護者と来室し、本校の児童は主に午前中に通ってきます。対象児童は、構音障害、言語発達遅滞、吃音等が主ですが、難聴や外因育ちで日本語のわからない児童もいます。最近は、ADHDや高機能自閉症、広汎性発達障害等の症状を呈する児童も集団不適応やコミュニケーション上の問題で関わる機会も多くなってきています。

保護者は、仕事を休んで児童を連れてきたり、時間をさいてきたりするわけですから、来てよかったですから、と思ってもらえるように努力していきたいと思います。

通級してくる児童の保護者で親の会を組織し、学習会や親子レク等の活動をしています。つい最近は、クリスマスリースを作りました。1月にはもちつき大会を計画しています。

所在地：〒292-0051 木更津市清川1-1-1 TEL：0438-98-3158

君津市幼児ことばの相談室

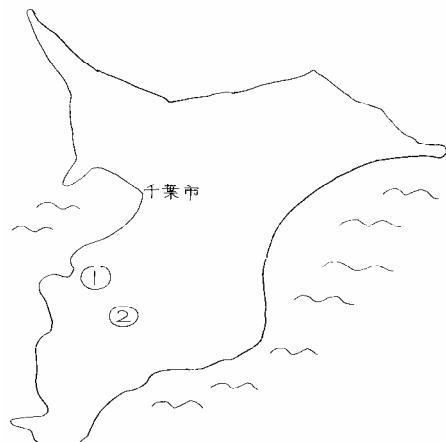
岡松 恵子

当相談室は、君津市保健福祉部福祉支援課に属し、君津市保健福祉センター内にあります。保健福祉センターは複合施設で、他に健康管理課、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、社会福祉協議会等が入っています。

ことばの相談室はS.T.非常勤1名（週3回）で、ことばの遅れや構音・吃音・難聴について相談を受け、個別に訓練・指導を行っています。対象は、市内在住の6歳以下の幼児で、年間指導人数は約80名です。ケースにより病院や他の指導機関を紹介します。就学後も継続して指導が必要な子どもについては、小学校ことばの教室（周西小・八重原小・久留里小）の先生にお願いしています。

センター内では保健師と、幼稚園・保育園に通う子どもの場合は先生と連携をとること、子どもの保護者に対しては心配や不安な気持ちを聞き話し合う時間をとることに努めています。個別指導が主ですが、集団に入る前の段階として小グループでのコミュニケーション指導の必要性を感じるケースがあり、それが今後の課題です。

所在地：〒299-1152 君津市久保3-1-1
TEL 0439-57-2254（月・火・木曜）



臨床こぼれ話

STとしての50年を振り返って（後半）

昭和40年代に入ると、幼児の相談が増えるにつれて「ことばの遅れ」という主訴で早期にチェックされるようになり、「自閉症」といわれる障害が相談の場に多く見られるようになりました。ただ、自閉症に対する手法が、受容的手法しかなかったためよい効果が得られず、セラピスト側に強いストレスがかかっていました。私自身も行動療法との出会いによって自閉のお子さんとのコンタクトがとれるようになり、セラピーがやりやすくなりました。

診断・評価についてはいつも悩みました。昭和50年に初版刊行されたマイクロバストの「学習能力の障害」や東京大学小児科の鈴木昌樹先生が初版刊行された「微細脳損傷」の研究などを手がかりに、学習障害のクライアントについては試行錯誤の訓練をやってきました。

私立のスピーチ・クリニックは強い後ろ盾もなく、どこからも資金の援助は得られず、教材・資材も不足、もちろん今に比べると、知識も不足…そこへクライアントが押しかけてくる…といったところです。あるDr.が「クリニックというものは、野戦病院のようなものなんですよ。何でもやらなきゃ。」と言われたことばそのままの感がありました。ただひたすら、「なんとかしてあげたい」という情熱だけで取り組んできたような気がします。

その後、我孫子の地に住むようになり、昭和50年から昨年まで、ここで小さなスピーチ・クリニックを続けて参りました。開業当初から、筑波大の先生方、地元の医療機関のDr.や福祉関係の方々にさまざまご支援をいただきてここまで続けることができました。古希を機に現役を引いて現在は障害児・者の支援、福祉作業所、などのボランティアをやらせていただいてあります。

ST 当時のことを思い返してみると、一緒に悩んだお子さんやお母さん方から本当に多くのことを教えていただいたという気がします。

臨床の場では、100人いれば100通りの《能力の違い、障害の違い、経験の違い》をもった生身の「こども」さんがいるわけで、典型的な障害として書かれている教科書の症例としてだけ見るわけにはいかないものがあるように思います。

この一人の「こども」さんが「人間」として成長していくために、社会性、人格形成、家族との関係、学校・地域社会との関係調整、生活スキル、など幅広いものを視野に入れた言語訓練が必要なのではないかと思いながら悩みと工夫の日々を積み重ねてきました。

「言葉」の研究は、そのまま人間の研究です。わずか50年足らずの間でも、言語障害児の様相は随分変化したように思います。これからもまだまだ変わっていくことでしょう。念願の国家資格もできた今、若い皆様を心から応援しております。

元 渡邊スピーチ・クリニック 渡邊倭文子

何年も前になりますが、渡邊先生にお会いしたことがあります。つやのある美しいお声の方で、その美しいお声で語られることは力強さと優しさにあふれ、障害児や障害者、そしてその家族に対する熱い思いを感じました。包み込まれるような温かさを体験し、私もこの先生のようなSTを目指したいと思いました。(S)

「臨床こぼれ話」への投稿をお待ちしております。

理事会・委員会報告

平成16年度理事会の報告

第8回

日時：2004年10月17日（日）13：10～17：30 場所：高洲コミュニティーセンター 和室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野島、野原、村西（以上理事8名）

　　山本（監事） 大浦（選挙管理委員会委員長） 田中（書記）

- （事務局より） ・関連職能組織からの送付物について ・言語聴覚士研修会の案内について
- ・生涯学習システムQ & Aについて ・第7回言語聴覚士国家試験の施行について ・賛助会員の入会手続きについて
- ・千葉県士会ニュースNo.12について ・新入会員および会友の承認について
- （学術局より） ・平成16年度第2回研修会について ・平成16年度第3回研修会について
- ・日本言語聴覚士協会生涯学習システムの「症例検討・発表」についてのお知らせについて
- （社会局より） ・地域の老人保健施設に勤務する言語聴覚士とその対応について
- ・茨城県士会からのホームページ掲載依頼について
- ・ディサーチスリア治療セミナーのホームページ・ニュース掲載依頼について
- （選挙管理委員会より） ・選挙管理委員会の任期について ・引き継ぎの時期について
- ・2005年度の選挙日程について ・選挙手続きについて ・次の選挙管理委員会について

第9回

日時：2004年11月23日（火）13：20～18：30 場所：千葉大学附属病院 第3会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野島、村西（以上理事7名） 田中（書記）

- （事務局より） ・関連職能組織からの送付物について ・福祉のまちづくり学会運営委員会への参画について
- ・都道府県士会協議会について ・会員・会友の退会に関する様式について ・旅費に関する様式について
- ・細則の様式改正について ・千葉県士会ニュースNo.13について
- （学術局より） ・平成16年度第3回研修会について
- （実態調査委員会より） ・特別支援教育プログラムに関する調査・研究について
- （選挙管理委員会より） ・選挙告示（案）立候補・推薦の手続き（案）立候補届出用紙（案）推薦届出用紙（案）について
- （地域組織委員会より） ・RST協会との連携および県士会活動についてのアンケート（案）について

第10回

日時：2004年12月23日（木）13：20～16：10 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西（以上理事7名）

- （事務局より） ・千葉県士会ニュースNo.13について ・細則の改廃について ・選挙告示について
- （学術局より） ・平成16年度第3回、第4回研修会について
- （実態調査委員会より） ・県への要望書について

地域組織委員会の報告

第2回

日時：2004年10月24日（日）13：00～17：00 場所：千葉市療育センター

出席者：五十部、高橋、武田、田辺、村西

- ・アンケートの内容について

実態調査委員会の報告

第2回

日時：2004年10月31日（日）10：00～12：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：太田、知念、長谷川、松本、野島、勝又（理事）

- ・現状の報告 ・活動方針についての協議

第3回

日時：2004年11月21日（日）10：00～12：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：太田、知念、長谷川、松本、野島、勝又（理事）

・勤務先別の役割に関するまとめ ・先行地域に関する報告（神奈川県川崎市の例）

第4回

日時：2004年12月19日（日）10：00～12：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：太田、長谷川、松本、野島、勝又（理事）

・HPの活用に関する検討・役割分担 ・県への要望書に関する

新生児聴覚スクリーニング検討委員会の報告

第6回

日時：2004年10月24日（日）10：00～12：00 場所：千葉市療育センター

出席者：岡田、村西、斎藤、野島（理事）

シンポジウム打ち合わせ出席者：岡田、村西、斎藤、野島、田辺、福島

・研修会について（シンポジウム打ち合わせ）

第7回

日時：2004年11月14日（日）10：00～12：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：岡田、荻洲、斎藤、庄司、高橋、村西、野島、勝又（理事）

・研修会についての最終確認について ・パンフレットについて ・フローチャートについて

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

..... 求人情報

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧下さい。

セントマーガレット病院

募 集：言語聴覚士（有資格者もしくは資格取得見込みの方）

そ の 他：平成17年度初任給 23万円 *既卒者は経験による 昇給年1回、賞与年3回

交通費あり 各種休暇あり 各種保険あり 24時間保育室完備

応募方法：採用試験、見学は随時受付

問 合 先：〒276-0022 千葉県八千代市上高野450 医療法人 恵仁会 セントマーガレット病院

TEL047-485-5111 FAX047-484-1119 E-mail:jinzai@st-marguerite.or.jp

帝京大学医学部附属市原病院

募 集：言語聴覚士（有資格者もしくは資格取得見込みの方） 常勤1名

対 象：成人言語・認知、小児言語・認知、聴覚、発声・発語、摂食・嚥下、その他

そ の 他：初任給約20万円 *経験加算あり 各種保険完備 平成17年4月1日より

応募方法：応募書類を郵送 採用試験は平成17年2月12日（土） 見学随時受付

問 合 先：〒299-0111 千葉県市原市姉崎3426-3 TEL 0436-62-1211 総務課（応募に関して）

（見学に関して）耳鼻咽喉科外来 石毛もしくは高橋 14：00～17：00の間

事務局から

1. 生涯学習システムについて

今年度より日本言語聴覚士協会（以下 RST 協会）では、生涯学習システムをスタートさせました。本県士会では、例年開催している県内の研修会をこのシステムにおけるポイント取得対象として認定してもらうなどの連携を行っています。今後も、このシステムを県士会の会員の皆さんにとってよりよいものとするために、皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。

生涯学習システムについてご質問やご意見などがありましたら、ホームページの「千葉県士会生涯学習システム Q&A 揭示板」への書き込みをお願いします。必要に応じて RST 協会の担当者に確認作業を行い、回答を掲載したいと考えています。郵便、FAX でも受け付けております。

生涯学習システムについてのご質問、ご意見をお受けしています。

[事務局] 〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室
FAX : (0438) 36-3867 E-mail : chibakenshikai@zp.moo.jp
<http://chibakenshikai.moo.jp/>

参考：生涯学習システムとは？

日本言語聴覚士協会（以下 RST 協会）では、「資質の向上に努め、学習を生涯続けることは言語聴覚士の職能のひとつである」との観点から、生涯学習プログラムを今年よりスタートさせました。このプログラムは協会の会員である言語聴覚士を対象としており、数年かけて（1）講座を履修し、あわせて（2）学会や研修会への参加などでポイントを取得することにより、修了証を得ることができます。

詳細については、RST 協会から配布されている資料もしくは RST 協会のホームページをご参照ください。
<http://www.jaslht.gr.jp/info012.html#lifelong>

2. 会費の納入のお願い

平成 16 年 12 月 1 日現在、正会員 67 名、会友 12 名の方が年会費を未納されています。本会の活動は皆様の会費によりまかなわれており、お支払いいただけませんと年会費をすでにお納めいただいている会員の方にも迷惑をおかけすることになります。ご理解、ご賢察のうえ、未納会費を早急に納入くださいますよう、お願ひ申し上げます。振込先は次のとおりです。

郵便振替 口座番号 00120-6-39932

加入者名 千葉県言語聴覚士会

なお、ご不明な点は、事務局財務部までお問い合わせください。

我孫子市身体障害者福祉センター 04-7188-0141 竹中啓介

3. 入会のお誘いについて

平成 16 年 12 月 25 日現在、千葉県言語聴覚士会の正会員は 200 名、会友は 23 名です。まだ未加入の方がたくさんいらっしゃると思います。お知り合いの方、また職場に ST がひとりという方に、ぜひともお勧めくださるようお願いいたします。みなさんのご入会をお待ちしております。

また、資格をもたない方でも入会できます。

正会員：言語聴覚士の免許をもっている方で、千葉県内に勤務または在住する方

会友：免許をもっていない方、または千葉県外に勤務かつ居住する有資格の方
賛助会員：本会の事業に賛同していただける方、または団体

「入会申込書」入手方法

- ・正会員については、千葉県言語聴覚士会のホームページからダウンロードもできます。最初のページ右上の事務局をクリックしてください。
- ・E-mail、FAX または郵便で事務局（最終ページ参照）までご請求ください。

入会手続きの流れについて

入会希望者

「入会申込書」に記入し事務局へ郵送
(正会員は免許証のコピーを添付)

事務局

理事会で承認

送付物を受け取り、確認後
振替用紙にて送金

承認証、会費の振替用紙
規約集、会報等の送付

4. 新入会員のお知らせ（敬称略）

会員数：正会員 200名 会友 24名

正会員

伊瀬知真実子（八千代ケアセンター）
若井真紀子（亀田総合病院）

緒方美紀（野田ライフケアセンター）
三井知佳（千葉市立海浜病院）

会友

戸邊敦子（東京医薬専門学校）
橋本祐子

濱崎清美（千葉大学附属病院）
葉山晃子（野田市関宿ことば相談室）

【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。
昨年はいろいろな災害に見舞われた年でした。
暗いニュースの中での新年のスタートですが、
皆さまにとって、幸多い年になることを願っております。
本年もどうぞよろしくお願ひします。



事務局

〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室
TEL : (0438) 36-1071 FAX : (0438) 36-3867 E-mail : chibakenshikai@zp.moo.jp
<http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード : affordance